



2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年2月5日

上場取引所 東

上場会社名 丸紅建材リース株式会社
 コード番号 9763 URL <https://www.mcml-maruken.com/>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名) 栗山 章司
 問合せ先責任者 (役職名)専務取締役 (氏名) 井ノ上 雅弘 (TEL) 03(5404)8200
 四半期報告書提出予定日 2021年2月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	14,924	△3.0	731	46.3	1,093	42.7	839	43.2
2020年3月期第3四半期	15,386	△4.2	499	△35.6	765	△27.8	586	△27.8

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 820百万円(31.6%) 2020年3月期第3四半期 623百万円(△18.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	251.84	—
2020年3月期第3四半期	175.88	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	33,184	14,775	43.0
2020年3月期	33,164	13,694	41.3

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 14,285百万円 2020年3月期 13,694百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	70.00	70.00
2021年3月期	—	0.00	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	70.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,200	△5.6	680	1.6	1,110	0.6	845	8.2	253.52

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2021年3月期3Q	3,429,440株	2020年3月期	3,429,440株
② 期末自己株式数	2021年3月期3Q	96,475株	2020年3月期	96,364株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2021年3月期3Q	3,333,031株	2020年3月期3Q	3,333,212株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2020年4月1日～2020年12月31日)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響による景気の悪化から、社会・経済活動の段階的な引き上げにより一部に持ち直しの動きが見られたものの、同感染症の再拡大により一層不透明感が増す状況となりました。

当社グループが属する建設業界におきましては、同感染症の影響による工事進捗への影響は限定的であるものの、今後の新規着工や開発計画等の延期・中断の動きも出始めており、案件減少による受注競争の激化が懸念されます。

このような環境下、当社グループでは中期経営計画に沿って、「顧客ニーズに応えられる価値あるサービスの提供」を目指し、現場作業性等効率改善に資する新商品の高強度腹起材「マルケンタフ7」や、コラム切梁材「マルケンタフ4」を実用化し、本格的な導入が始まりました。また、国内収益基盤整備の一環として、引き続き工場の機械化・自動化による作業能力の向上と安全設備の導入を進めてまいりました。

以上の結果、当第3四半期の業績は、売上高149億24百万円(前年同期比4億61百万円、3.0%減)、営業利益7億31百万円(同2億31百万円、46.3%増)、経常利益10億93百万円(同3億27百万円、42.7%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益8億39百万円(同2億53百万円、43.2%増)と前年同期比で減収増益となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

① 重仮設事業

賃貸稼働量・販売量ともに前年同期比で減少したため、売上高は120億70百万円(前年同期比2億68百万円、2.2%減)となりましたが、コスト削減や採算性の向上に努めた結果、セグメント利益は11億21百万円(同2億27百万円、25.4%増)となりました。

② 重仮設工事業

売上高は18億45百万円(同22百万円、1.2%減)と前年同期比微減となりましたが、子会社丸建基礎工事(株)の採算改善もありセグメント利益は1億42百万円(同56百万円、66.3%増)となりました。

③ 土木・上下水道施設工事等事業

工場プラント工事の受注低迷と低採算案件の完工の影響により、売上高は10億8百万円(同1億70百万円、14.4%減)、セグメント利益は12百万円(同18百万円、59.5%減)となりました。

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、中国の瑞馬丸建(安徽)工程支護科技有限公司への第三者割当増資引受など投資有価証券の増加額14億45百万円と受取手形及び売掛金の減少額10億83百万円、商品の減少額2億90百万円などにより、前期末比19百万円増の331億84百万円となりました。

負債合計は、支払手形及び買掛金の減少額9億90百万円などにより、前期末比10億60百万円減の184億9百万円となりました。

純資産合計は、親会社株主に帰属する四半期純利益8億39百万円の計上による増加額、非支配株主持分4億89百万円の計上による増加額と配当金2億33百万円の支払による減少額などにより、前期末比10億80百万円増の147億75百万円となり、自己資本比率は1.7ポイント増の43.0%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期の業績は期初予想に沿って進捗しており、現時点において、2020年5月13日公表の2021年3月期の通期連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,189	2,293
受取手形及び売掛金	6,351	5,268
電子記録債権	1,716	2,062
建設機材	9,791	9,241
商品	731	441
材料貯蔵品	255	257
未成工事支出金	36	39
その他	252	221
貸倒引当金	△63	△43
流動資産合計	21,260	19,782
固定資産		
有形固定資産		
土地	8,027	8,027
その他(純額)	1,132	1,180
有形固定資産合計	9,159	9,207
無形固定資産	11	9
投資その他の資産		
投資有価証券	2,511	3,957
退職給付に係る資産	67	83
その他	181	164
貸倒引当金	△27	△20
投資その他の資産合計	2,732	4,185
固定資産合計	11,903	13,401
資産合計	33,164	33,184

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,054	5,064
電子記録債務	1,554	1,203
短期借入金	3,700	3,700
1年内返済予定の長期借入金	1,580	1,690
未払法人税等	64	168
引当金	219	149
その他	1,578	1,743
流動負債合計	14,751	13,718
固定負債		
長期借入金	3,655	3,650
退職給付に係る負債	25	20
その他	1,038	1,020
固定負債合計	4,719	4,690
負債合計	19,470	18,409
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,651	2,651
資本剰余金	924	924
利益剰余金	8,136	8,742
自己株式	△136	△136
株主資本合計	11,576	12,182
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	200	223
土地再評価差額金	1,975	1,975
為替換算調整勘定	△15	△72
退職給付に係る調整累計額	△42	△24
その他の包括利益累計額合計	2,118	2,103
非支配株主持分	-	489
純資産合計	13,694	14,775
負債純資産合計	33,164	33,184

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)
売上高	15,386	14,924
売上原価	13,222	12,497
売上総利益	2,163	2,427
販売費及び一般管理費		
報酬及び給料手当	740	788
福利厚生費	180	195
地代家賃	133	133
退職給付費用	11	8
貸倒引当金繰入額	0	-
賞与引当金繰入額	194	232
その他	402	336
販売費及び一般管理費合計	1,663	1,695
営業利益	499	731
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	24	25
持分法による投資利益	237	297
その他	53	84
営業外収益合計	315	407
営業外費用		
支払利息	36	35
その他	12	10
営業外費用合計	49	45
経常利益	765	1,093
税金等調整前四半期純利益	765	1,093
法人税、住民税及び事業税	133	227
法人税等調整額	46	29
法人税等合計	179	257
四半期純利益	586	835
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	-	△3
親会社株主に帰属する四半期純利益	586	839

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	586	835
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	13	23
退職給付に係る調整額	△0	16
持分法適用会社に対する持分相当額	24	△55
その他の包括利益合計	37	△15
四半期包括利益	623	820
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	623	824
非支配株主に係る四半期包括利益	-	△3

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 2
	重仮設	重仮設工事	土木・上下水 道施設工事等	計		
売上高						
外部顧客への売上高	12,339	1,868	1,178	15,386	—	15,386
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	12,339	1,868	1,178	15,386	—	15,386
セグメント利益	894	85	31	1,011	△511	499

(注) 1 セグメント利益の調整額△511百万円は、主に報告セグメントに帰属しない当社管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 2
	重仮設	重仮設工事	土木・上下水 道施設工事等	計		
売上高						
外部顧客への売上高	12,070	1,845	1,008	14,924	—	14,924
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	12,070	1,845	1,008	14,924	—	14,924
セグメント利益	1,121	142	12	1,277	△545	731

(注) 1 セグメント利益の調整額△545百万円は、主に報告セグメントに帰属しない当社管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。